

新型コロナの後遺症 「3カ月以上続く」が4割以上 宮崎県

6/12 宮崎ニュースUMK



<https://news.yahoo.co.jp/articles/f3dd0619fc773ab3cc1209f2c52fa4cfc36a4edd>

宮崎県は新型コロナウイルスの後遺症について、実態調査を行いました。後遺症が3カ月以上続いていると回答した人は4割以上いることがわかりました。

実態調査は、新型コロナの後遺症の症状が4週間以上続く人を対象に、去年9月22日から5月末までの間、宮崎県のホームページ上で行われ、115人から回答が寄せられました。

それによりますと、後遺症の継続期間については、1カ月から2カ月と答えた人が66人と最も多く、次いで3カ月から5カ月が31人となっています。

3カ月以上続いている人は、全体の4割以上を占めていて1年以上続いている人も4人います。

症状は、せきや痰が61人、倦怠感や疲労感・筋力の低下が58人などで、54%が2つから4つの症状が出ているということです。

後遺症の治療や相談のために医療機関を受診した人は47人で、6割近くが受診していません。

県の健康増進課は、後遺症かも？と思ったら、まずはかかりつけ医に相談し、症状に応じて受診してほしいと呼びかけています。

